

工 事 番 号		部長	課長	課長補佐	係長	係員	設計者
		支所長	課長	課長補佐	係長	係員	設計者
設 計 年 度	令和 6 年度		道路防災工事（市道菅堂谷線） 三原市本郷町船木 設 計 書				
施 工 月 日	令和 年 月 日						
施 工 方 法	請 負						
工 事 期 間							
工 事 概 要			起 工 理 由				
施工延長 L=92.1m ・表層 t=5cm A=424m ² ・上層路盤 t=15cm A=424m ² ・防草コンクリート t=7cm L=58.5m（50m ² ）							

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市本郷町船木 道路防災工事（市道菅堂谷線）に適用する。
 - 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・ **土木工事共通仕様書（令和6年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）**
- ※ 土木工事共通仕様書、特記仕様書（共通事項）は「広島県の調達情報」に掲載している。
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
- ・ その他関連規格類

第2節 週休2日適用工事

本工事は、週休2日工事の対象外とする。

第3節 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- 1 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正をする工事とする。
- 2 受注者は、補正を希望する場合、監督員と協議すること。
- 3 工事の実施にあたっては「熱中症対策に資する現場管理費の補正の運用について」に基づき、行うこと。

第4節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
 - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」
 - (2) 上記(1)の内容について「不測の事態等が生じた場合の対応方法」
 - (3) 上記(1)、(2)の内容について「現場作業に従事する者に対する周知の方法」
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

第5節 建設副産物

本工事における建設副産物については、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

- 1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画
受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。
- 2 計画の掲示及び公表
受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。
https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

- 3 実施書の提出
受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。
- 4 工事現場の管理体制
受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。
- 5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成
受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。
※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。
- (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項
ア 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。
イ 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項
- 6 運搬業者への通知
受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。
- 7 確認結果票の掲示及び公表
受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
- 8 確認結果票の保管
受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。
- 9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求
受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。
- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- (4) 建設発生土の搬出量
- (5) 建設発生土の搬出が完了した日
- 10 建設発生土の搬入元への受領書の交付
受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。
- 11 受領書の内容確認
受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。
- 12 受領書の保管
受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

- 13 建設発生土の最終搬出先までの確認
- 受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9（1）～（5）に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。
- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
- (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
- (3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたストックヤード
- (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出ししないもの）

第2章 施工条件

第1節 工程

- 1 施工時期・時間の制限
- | | |
|---------|----------------------------------|
| 施工内容 | 工事全般 |
| 時期 | 全工事期間 |
| 時間 | 調整による |
| 施工方法・理由 | 工事に伴い通行止めが発生する場合は、地元への周知を徹底すること。 |

第2節 用地

- 1 現場の復旧
- 原形復旧とする。

第3節 安全対策

- 1 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
- 作業期間中の交通誘導員は、工事期間中において2（人／日）を見込んでいる。

第5節 工事用道路

- 1 一般道路
- | | |
|----------|---|
| 使用期間 | 工事施工期間 |
| 使用時間 | 8時～17時 |
| 工事中・後の処理 | 随時清掃を行うこと。また、工事完了後は舗装欠損部の補修を行うこと。（工事前、後の写真により監督員と協議すること。） |
- 2 仮設道路
- | | |
|--------|------|
| 工事後の処置 | 原形復旧 |
|--------|------|

第7節 建設副産物

- 1 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地）（指定処分（A））
- 当該工事により発生する建設発生土は、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地に搬出するものとする。
- また、積算上の搬出先として、建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地のうち、運搬費と受入費の合計が最も経済的になる次の施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

搬出場所 株式会社ヤマト実業処分場（三原市本郷町船木1606-1）

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。

2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m²以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。
ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第8節 その他

1 工事用機資材の仮置き

場所 受注者が責任を持って管理すること。なお、借地料等については受注者の負担とする。

2 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に参加しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んである。

3 法定外の労災保険 の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条（火災保険等）に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又なこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第4章 設計金額

第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

- 1 土木工事共通仕様書（令和6年8月）『1-1-1-33 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。
なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第5章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項又は、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員の指示を受けること。

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
舗装		式		1	レベル1
道路土工		式		1	レベル2
掘削工		式		1	レベル3
掘削（機械）		m3		40	レベル4
掘削（人力）		m3		3	レベル4
盛土工		式		1	レベル3
人力盛土		m3		6	レベル4
残土処理工		式		1	レベル3
法面工		式		1	レベル2
法面工		式		1	レベル3
防草コンクリート工	t=70mm	m2		50	レベル4
舗装工		式		1	レベル2
舗装打換え工		式		1	レベル3
舗装版切断	アスファルト舗装版,舗装厚150mm以内	m		7	レベル4
舗装版破碎	アスファルト舗装版,舗装版厚150mm以内	m2		203	レベル4
殻運搬	As塊	m3		10	レベル4
殻処分	As塊	m3		10	レベル4

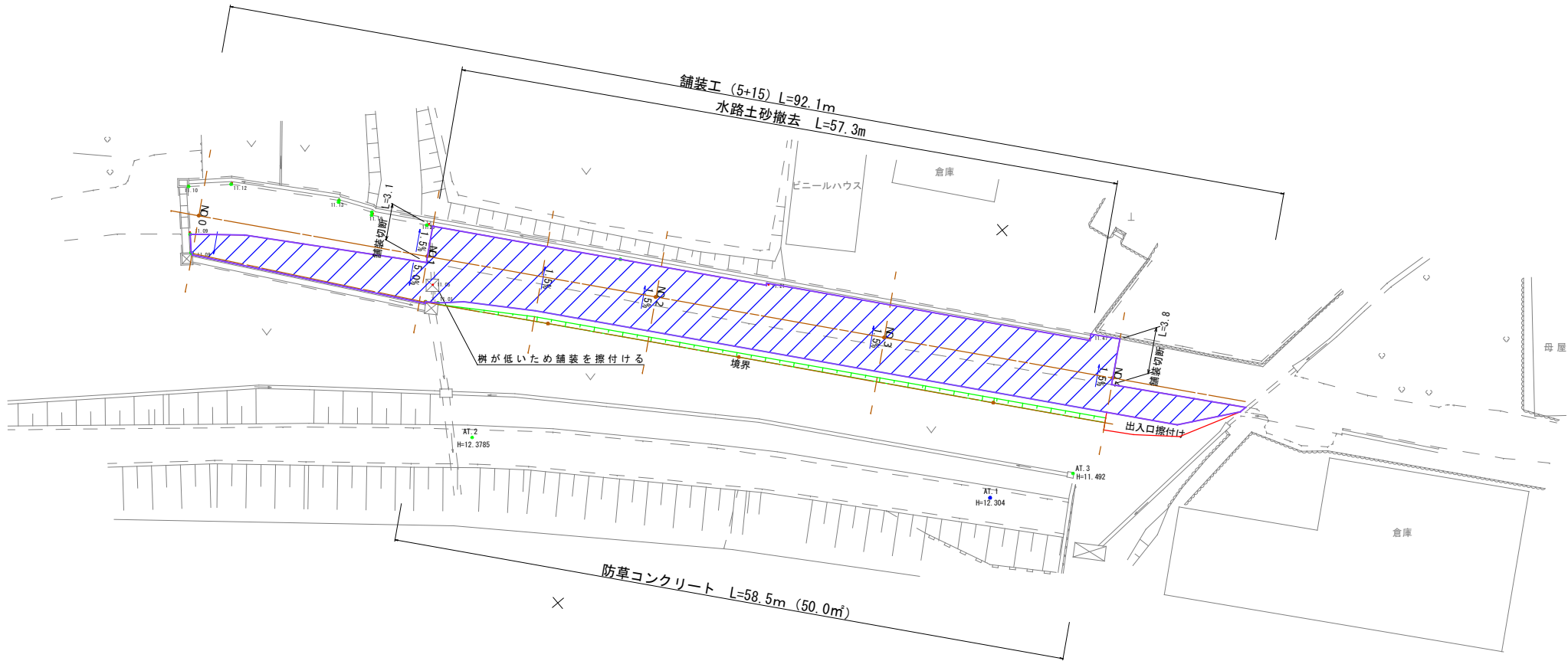
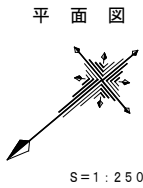
工事数量総括表

頁0 -0002

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
上層路盤	M-40, t=150mm	m2		424	レベル4
表層	再生密粒度アスコン20、t=50mm	m2		424	レベル4
仮設工		式		1	レベル2
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		人		12	レベル4
※※直接工事費※※					
共通仮設費率分					
※※共通仮設費計※※					
※※純工事費※※					
現場管理費					
※※工事原価※※					
一般管理費率分					
一般管理費計					
※※工事価格※※					
※※消費税相当額※※					
※※工事費計※※					

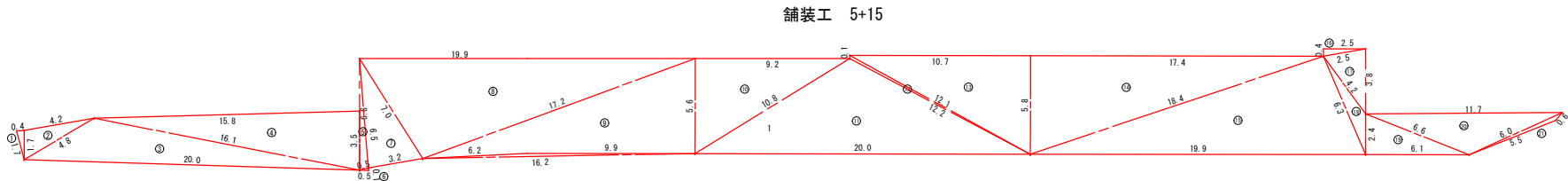
図面番号	1	4	縮 尺	S=1:500
事業年度	令和 6 年度			
工 種	道 路 防 災 工 事			
種 別	平 面 図		番 号	1 / 1
名 称	市 道 菅 堂 谷 線 ×			
工事箇所	三原市本郷町船木			
三 原 市				

※この図面は50%に縮小しています。



図面番号	4	縮 尺	図 示
事業年度	令 和 6 年 度		
工 種	道 路 防 災 工 事		
種 別	展開図・構造図	番号	1 / 1
名 称	市 道 菅 堂 谷 線		
工事箇所	三原市本郷町船木		
三 原 市			

※この図面は50%に縮小しています。

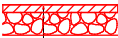


地 番	1 舗装工			
符 号	A	B	C	ヘ ロ ン
①	1.7	1.7	0.4	0.33763
②	4.8	1.7	4.2	3.51441
③	20.0	16.1	4.8	25.02964
④	16.1	15.8	3.5	27.64188
⑤	6.6	6.5	0.5	1.60324
⑥	0.5	0.1	0.5	0.02487
⑦	7.0	3.2	6.5	10.36333
⑧	19.9	17.2	7.0	58.82509
⑨	17.2	5.6	16.2	45.35713
⑩	10.8	5.6	9.2	25.75950
⑪	20.0	12.1	10.8	55.65167
⑫	12.2	12.1	0.1	0.00000
⑬	12.2	10.7	5.8	31.02949
⑭	18.4	5.8	17.4	50.45711
⑮	19.9	18.4	6.3	57.78968
⑯	2.5	0.4	2.5	0.49839
⑰	4.2	3.8	2.5	4.68839
⑱	6.3	2.4	4.2	2.96923
⑲	6.6	2.4	6.1	7.31851
⑳	11.7	6.0	6.6	13.66087
㉑	6.0	0.6	5.5	0.95223
面 積				423.47229
合 計 面 積				423.47229
地 積				423.47 m ²

交通区分 T<100(ⅡL交通) 設計CBR 8.0%以上

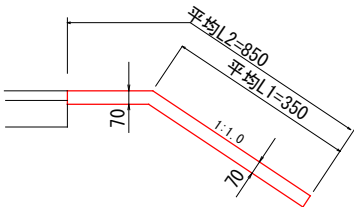
表層(密粒度アスコン) 厚	5cm × 1.00 = 5.00
路盤工 (RM-40) 厚	15cm × 0.35 = 5.25
合計厚	20cm TA = 10.25 ≥ 10.00

舗 装 工



表層(再生密粒度アスコン) : t= 5cm
上層路盤(M-40) : t=15cm

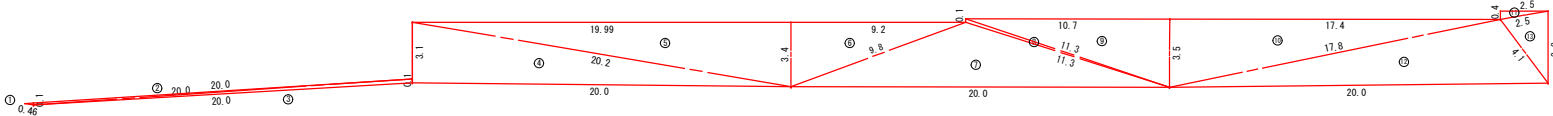
防草コンクリート(盛土) (S=1/20)



防草コンクリート(盛土) 材料表

種 別	規 格	数 量
目 地 材	瀝青質板 t=10mm	0.06 m ²
コンクリート	σ ck=18N/mm ² (18N-8-20)	0.60 m ³

舗装剥取り t=5cm



地 番	2 舗装剥取り			
符 号	A	B	C	ヘ ロ ン
①	0.4	0.4	0.1	0.01984
②	20.0	0.1	20.0	0.99999
③	20.0	0.1	20.0	0.99999
④	20.2	20.0	3.1	30.99751
⑤	20.2	19.9	3.4	33.82979
⑥	9.8	3.4	9.2	15.63994
⑦	20.0	9.8	11.3	33.52450
⑧	11.3	11.3	0.1	0.56499
⑨	11.3	3.5	10.7	18.72349
⑩	17.8	3.5	17.4	30.44656
⑪	2.5	0.4	2.5	0.49839
⑫	20.0	17.8	4.1	32.50192
⑬	4.1	3.7	2.5	4.55832
面 積				203.30523
合 計 面 積				203.30523
地 積				203.30 m ²

参考資料

令和 6 年度

道路防災工事（市道菅堂谷線）

三原市本郷町船木

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 65 三原市(本郷) 00-06.10.01(0)		《凡例》 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	06 舗装工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 03 補正しない		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
舗装					Y1E02 レベル1
	1	式			
道路土工					Y1E0201 レベル2
	1	式			
掘削工					Y1E020101 レベル3
	1	式			
掘削（機械）					Y1E02010101レベル4
	40	m3			
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準					SPK24040001 00
	40	m3			単第0 -0001 表
掘削（人力）					Y1E02010101レベル4
	3	m3			
掘削 土砂 現場制約あり					SPK24040001 00
	3	m3			単第0 -0002 表
盛土工					Y1E020101 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
人力盛土					Y1E02010101レベル4
	6	m3			
人力盛土（埋戻し） 粘性土・砂・砂質土・レキ質土					SQ000023 00
	6	m3			単第0 -0003 表
残土処理工					Y1E020110 レベル3
	1	式			
土砂等運搬 砂質土、礫質土					Y1E02011002レベル4
	30	m3			
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離1.0km以下(0.2km超)					SPK24040002 00
	30	m3			単第0 -0004 表
残土等処分					Y1E02011003レベル4
	30	m3			
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
受入費 土砂					F0000000001 00
	30	m3			
法面工					Y1E0104 レベル2
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
法面工					Y1E010404 レベル3
	1	式			
防草コンクリート工 t=70mm					Y1E01040401レベル4
	50	m2			
コンクリート打設工 防草コンクリート Co厚さ70mm 18-8-20BB					S1040011 00
	50	m2			単第0 -0005 表
舗装工					Y1E0204 レベル2
	1	式			
舗装打換え工					Y1G010302 レベル3
	1	式			
舗装版切断 アスファルト舗装版,舗装厚150mm以内					Y1G01030201レベル4
	7	m			
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下					SPK24040306 00
	7	m			単第0 -0006 表
舗装版破碎 アスファルト舗装版,舗装版厚150mm以内					Y1G01030202レベル4
	203	m2			
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下					SPK24040305 00
	203	m2			単第0 -0007 表

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 As塊	10	m3			Y1G01030205レベル4
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離4.5km以下(3.5km超)	10	m3			SPK24040151 00 単第0 -0008 表
殻処分 As塊	10	m3			Y1G01030206レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
受入費 As塊	24	t			F0000000002 00
上層路盤 M-40, t=150mm	424	m2			Y1G01030208レベル4
上層路盤(車道・路肩部) M-40 全仕上り厚150mm 1層施工	424	m2			SPK24040234 00 単第0 -0009 表
表層 再生密粒度アスコン20、t=50mm	424	m2			Y1G01030211レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm	424	m2			SPK24040241 00 単第0 -0010 表

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設工					Y1E0215 レベル2
	1	式			
交通管理工					Y1E021521 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1E02152101 レベル4
	10	人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	10	人			
直接工事費 #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額……… 率……………					
共通仮設費計					
純工事費					

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場管理費 計算情報…… 対象額……… 率………					
※※工事原価※※					
一般管理费率分 計算情報…… 対象額……… 率………					前払補正率…
一般管理費計					
※※工事価格※※					
※※消費税相当額※※ 計算情報…… 対象額……… 率………					
※※工事費計※※					

施工単価表

掘削
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 27.26%

SPK24040001

単第0 -0001 表

標準
61.70%

労務構成比:

材料構成比: 11.04%

市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価:

m3 当り
1,212.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	27.26%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊)	61.70%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.04%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 E=7 土砂 標準			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

頁0 -0009

掘削

SPK24040001

單第0 -0002 表

土砂 現場制約あり

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 勞務構成比: 100.00% 材料構成比: 0.00% 市場單價構成比: 0.00%

標準単価：

6,214.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0010

人力盛土（埋戻し）

SQ000023

單第0 -0003 表

粘性土・砂・砂質土・レキ質土

10

m3

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0011

土砂等運搬
小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)
機械構成比: 24.45% 労務構成比: 63.42% 材料構成比: 12.13%
SPK24040002
DID区間無し 距離1.0km以下(0.2km超)

単第0 -0004 表
1
標準単価: 883.23000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	24.45%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	63.42%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.13%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=5 距離1.0km以下(0.2km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

コンクリート打設工		S1040011		単第0 -0005 表	
防草コンクリート Co厚さ70mm		18-8-20BB		100	m2 当り
名称・規格など		数量	単位	単価	金額 備考
土木一般世話役		1.000	人		
普通作業員		3.200	人		
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)		8.470	m3		
諸雑費		3.0	%		#09
*** 合計 ***		100	m2		
*** 単位当たり ***		1	m2		
A=1 施工幅 1.0m以下 C=1 - F=70 コンクリート厚さ(mm)				B=2 施工高さ -1.0m以上1.0m以下 D=1 18-8-20BB G=1 -	

施工単価表

頁0 -0013

舗装版切断

SPK24040306

単第0 -0006 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 15.42%

労務構成比:

57.13%

材料構成比: 27.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

673.26000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.49%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.60%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.73%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	23.29%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.83%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0014

鋪裝版切断

SPK24040306

單第0 -0006 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 15.42%

勞務構成比：

57.13%

材料構成比: 27.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

673.26000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0015

舗装版破碎
アスファルト舗装版
機械構成比: 13.49%

SPK24040305
障害等無し 舗装版厚15cm以下
労務構成比: 80.49%

材料構成比: 6.02%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0007 表

1
標準単価:

m2 当り
207.06000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	13.49%		バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
土木一般世話役	28.91%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	27.69%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	23.89%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	6.02%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=1 F=1 アスファルト舗装版 騒音振動対策不要 積込作業有り			B=1 D=1 G=1 障害等無し 舗装版厚15cm以下 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0016

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比: 18.57% 労務構成比: 72.35% 材料構成比: 9.08% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040151
DID区間無し 運搬距離4.5km以下(3.5km超)

単第0 -0008 表
1
標準単価: 4,025.30000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	18.57%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	72.35%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=20 運搬距離4.5km以下(3.5km超)		

施工単価表

頁0 -0017

上層路盤(車道・路肩部)

SPK24040234

単第0 -0009 表

M-40

全仕上り厚150mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 9.88% 労務構成比: 33.13% 材料構成比: 56.99% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 569.67000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	3.96%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	3.13%		ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.01%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	15.46%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	5.15%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	5.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	1.52%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0018

上層路盤(車道・路肩部)

SPK24040234

単第0 -0009 表

M-40

全仕上り厚150mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 9.88% 労務構成比: 33.13% 材料構成比: 56.99% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 569.67000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
粒度調整碎石 40～0mm	53.57%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPCD0022 TTPT00357
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	2.81%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=7 H=1 M-40 -(全ての費用)			E=150 全仕上り厚(mm)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):150.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0019

表層(車道・路肩部)

SPK24040241

単第0 -0010 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.35%

労務構成比:

9.47%

材料構成比: 89.18%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,836.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.87%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.13%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.13%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.39%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	1.94%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	1.89%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.67%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0020

表層(車道・路肩部)
平均幅員3.0m超
機械構成比: 1.35% 労務構成比: 9.47% 材料構成比: 89.18% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040241
1層当り平均仕上厚50mm

単第0 -0010 表

1
標準単価:

m2 当り
1,836.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	81.56%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	7.06%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.47%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 C=6 G=1 I=1 平均幅員3.0m超 再生密粒度アスファルト混合物(20) - -(全ての費用)			B=50 E=2 H=1 1層当り平均仕上り厚(mm) PK-3 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

令和 6 年度

道路防災工事（市道菅堂谷線）

数量計算書

数 量 総 括 表

工事区分	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	計上数量	備 考
	道路土工							
		掘削工						
			小規模掘削	土砂	m ³	38.2	40	
			人力掘削	土砂	m ³	2.9	3	側溝部
		盛土工						
			人力盛土		m ³	5.6	6	
		残土処理工						
			残土処分	土砂	m ³	34.9	30	
	法面工							
		防草コンクリート						
			防草コンクリート	t=7cm	m	58.5	59	
					m ²	50.0	50	
	構造物撤去工							
		構造物取壊し工						
			舗装版切断	20cm以下	m	6.9	7	3.2+3.8
			舗装版取壊し	アスファルト舗装版 t=5cm	m ²	203.3	203	
		運搬処理工						
			アスファルト殻	203.3*0.05	m ³	10.2	10	
				10.2×2.35	t	23.9	24	
	舗装工							
		アスファルト舗装工(舗装復旧工)						
			路盤工	粒度調整碎石M-40 t=15cm	m ²	423.5	424	
			表層	再生密粒度As(20) t=5cm	m ²	423.5	424	
	仮設工							
		仮設工						
			交通誘導員B		人	10.0	10	

道路土工数量集計表

[illegible]

[illegible]

土 量 配 分 表

計第 表

掘削	土砂	41.1			盛土 土 砂 5.6
	計	41.1			植生土のう
					埋戻し
					流用土 = 5.6
床掘	土砂(ブ ロック積)				残土処理 (土砂) +41.1-5.6/0.9=34.9

法面工数量集計表

[illegible]

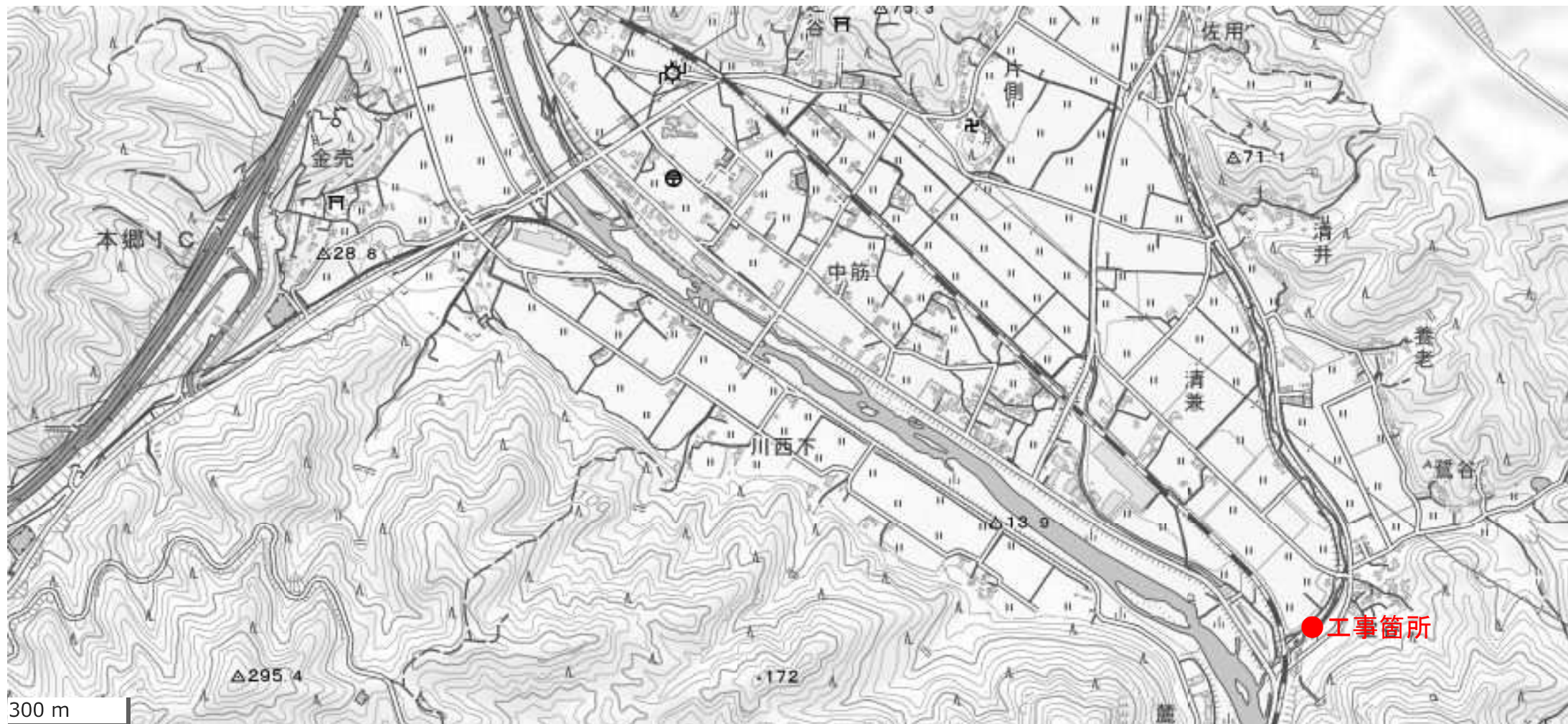
舗装工数量集計表

[illegible]

構造物撤去工数量集計表

[illegible]

【位置図】



出典：国土地理院